

事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	<small>おおいたちゅうぶ</small> 大分中部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	<small>おおいたし</small> 大分市ほか5市
事業実施期間	H29 ~ H33（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は大分県の中部に位置し、大分市を流れる大野川、大分川の流域を中心に、北は由布・鶴見山系、西はくじゅう山系、南は祖母山系の山々の稜線に、東は佐賀関半島から臼杵湾、津久見湾、四浦半島の海岸に囲まれている6市を包括する区域面積227千haの地域である。</p> <p>このうち民有林森林面積は133千ha（民有林率45%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は60千ha（人工林率45%）で県平均52%を下回っている。</p> <p>また、基盤整備の状況は、林道593千m（密度4.46m/ha）、作業道1,449千m（密度10.89m/ha）が既に整備されているが、県平均路網密度は林道4.83m/ha、作業道11.44m/haとなっており、県平均より低い状況となっている。</p> <p>本区内の森林資源の現状は、利用の適期を迎えた森林が増加しており、Ⅷ齢級以上の森林が80%と高齢級に偏った齢級構成となっている。</p> <p>このことから、主伐及び再造林並びに利用間伐を中心とした森林整備を実施し、地域の活性化と健全な森林資源の維持増進を図る必要がある。</p> <p>このため、本事業では、間伐材の利用促進と森林の持つ多面的機能の維持増進を図るため、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：13,250ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：5,493,166千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.15 (総便益(B) = 26,249,159千円、総費用(C) = 8,334,845千円)</p>
評価結果	<p>必要性：地域材の利用促進と森林の持つ公益的機能を発揮させるためには、適正な森林施業の推進を図ることが重要であり、事業の必要性は高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性、森林資源の状況並びに自然条件や社会的要請等を総合的に勘案した計画になっており有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 大分県

地域(地区)名: おおいたちゅうぶ大分中部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <small>かん</small> 便益	洪水防止便益	10,188,570	
	流域貯水便益	2,175,001	
	水質浄化便益	4,977,861	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,812,427	
	土砂崩壊防止便益	95,300	
総 便 益 (B)		26,249,159	
総 費 用 (C)		8,334,845	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,249,159}{8,334,845} = 3.15$		

森林環境保全整備事業 中部地域(大分県)

